

N 中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）

発行人 南部 美智代

No. 169

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 3-8 中北ビル 5F

Tel 03-3259-1287 URL <https://www.rofuku.net>

女性のひろば Web 版 LIVE 配信

ナミ姉に聞く！！

コロナ禍「今、私たちにできること」



竹中ナミ氏（写真中央）、南部美智代事務局長（写真左）、山中しのぶ副会長（写真右）＝9月17日、東京都

“チャレンジド（障がいを持つ人）とともに創る社会”

中央労福協は9月17日、第3回シンポジウム「女性のひろば」を開催した。本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、参加者への健康面・安全面を鑑み、初めてのリモート開催に挑戦した。どこからでも参加できるリモート開催のメリットもあり、中央労福協の加盟団体、関係団体から167名が参加した。（昨年105名）

今回は、社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 竹中ナミ氏（通称：ナミねえ）を招き「今、私たちにできること」をテーマに、榎本朋子さん（中央労福協委員）の総合司会でスタートした。

シンポジウムでは、Challenged＝チャレンジド「障がいを持つ人」の可能性に着目し、自立と社会参画、とりわけ就労の

促進を支援する活動を続けているナミねえのこれまでの活動を、中央労福協・山中しのぶ副会長（電機連合書記次長）と同・南部美智代事務局長を交えてトークを盛り上げた。

No.169 Topics

2面 2020 全国福祉強化キャンペーン

3面 第5回三役会を開催

4面 全国研究集会ダイジェスト版

4面 連載59 「なんでも相談ダイヤル」を設置した山田精吾

山中副会長からは、電機連合の障がい者を支える家族の支援について紹介を受け、新時代の教育の在り方・社会環境の変化についても意見交換を行った。

また、障がい者が活躍できる社会にするために私たちに期待することや、働く仲間や家族へのやる気と可能性についてのアドバイスをナミねえに伺い、働く女性への激励も頂いた。

チャレンジドが社会で活躍するためには、「周りの支え合い・助け合いだけではもう限界であり、制度・仕組みを根本的に変えていかなければならない」とナミねえが主張されたことは、労働者福祉運動につながるものだ。

最後に南部事務局長から「偶然とラッキーは『待ち』の姿勢ではおちてきません。『棚の上のぼた餅は、自分で梯子を組んで、それをつこうて取りに行かん手に入りまへんで』」というナミねえ流を紹介して終了した。

◆お詫び◆ 今回、初めてのLIVE配信において、音声の不具合が発生し、多くの視聴者の皆様には、聞き苦しい箇所があり、内容が十分伝えられなかったことは残念でなりません。改めて、深くお詫び申し上げます。今後は、この経験を踏まえ、さらに新たな取り組みに挑戦致します。

2020 全国福祉強化キャンペーン、10月からスタート！ 今こそ労福協の力を。

全国47都道府県の労福協が一斉に取り組む「全国福祉強化キャンペーン」が、今年も10月1日からスタートした。2020年に入り、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが全世界に広がっている。我が国においても、多くの国民が「感染拡大の防止」と「社会・経済活動の再開」のはざまの中で、生命・健康の不安と経済低迷による所得低下・雇用不安を抱えながら、生活を送っている。休業・

失業等によって困窮に陥っている生活者（勤労者・学生等）への支援は急務だ。

2020年は10～11月を取り組み強化期間として、「今こそ、労福協の力を。」を合言葉に、困難を抱える生活者に寄り添いながら、穏やかな日常を取り戻すことをめざして活動を展開していく。

2つのテーマ

- ・ 労働者福祉運動で、共助の輪を地域に広げよう！
- ・ 生活・就労支援を地域のネットワークで支えよう！

重点課題（全国統一行動）

1. 地方自治体への政策・制度要請（緊急の要請行動）

- ① 通常要請
- ② コロナ禍対応に関する緊急要請

2. 相談・情宣活動の充実、強化

- ① 奨学金に関する全国一斉相談（一斉相談日：2020年11月6日）
- ② 事業団体（ろうきん・こくみん共済coop）との連携
- ③ 中央労福協が行う取り組みの有効活動

3. 生活・就労応援基金（愛称：ろうふくエール基金）と連動した取り組み

ポスト
コロナ

今こそ! 労福協 の力を

2020 全国福祉強化
キャンペーン

- 労働者福祉運動で、
共助の輪を地域に
広げよう!
- 生活・就労支援を
地域のネットワーク
で支えよう!

コロナ禍とともに
乗り越えよう!

労働者福祉中央協議会

2021 年度の活動へ向けて 中央労福協は第 5 回三役会を開催

中央労福協は 9 月 18 日、第 5 回三役会を Web 開催し、第 9 回加盟団体代表者会議に向けて協議を行った。

冒頭、中央労福協・神津里季生会長から、「現在寄付を呼びかけている『ろうふくエール基金』について、早速ご寄付頂いている、あるいは積極的に検討を頂いていることに感謝申し上げます。生活に困窮する方々への支援、相談員さんへのエールなど、基金の使い道は、まさに労福協運動ならではの取り組みだ。一層のご協力をお願いしたい」と挨拶があった。

協議事項では、現在、中央労福協が展開している「ろうふくエール基金」の緊急生活支援の第一次助成、2020～2021 年度活動方針の補強(素案)、2021 年度(第 74 期)予算(素案)、11 月に開催予定の第 9 回加盟団体代表者会議の開催方式についてなどを確認した。



挨拶する中央労福協・神津里季生会長＝9 月 18 日、東京都

2020～2021 年度活動方針の補強(素案)、2021 年度(第 74 期)予算(素案)は、第 4 回幹事会(10 月 29 日)に諮り、その後、第 9 回加盟団体代表者会議で確定する予定。

学習会等に！ダイジェスト版を10月1日公開 全国研究集会『時代に調和する新しい“つながり”のカタチ』

中央労福協は10月1日、YouTubeで好評公開中の動画、2020年度全国研究集会「時代に調和する新しい“つながり”のカタチ」のダイジェスト版を公開、各加盟団体にデータで提供した。

ダイジェスト版は、9月1日に公開した本編動画のキーとなるシーンを抜粋した短縮版で、本編で語られている内容が少し垣間見える作りとなっている。各組織内の研修、学習会等でご活用いただけるよう上映時間は約18分とコンパクトにまとめている。ぜひ有効にご活用頂きたい。

本編は引き続きYouTubeで公開している。



本編は引き続き公開中！ 視聴後は「1分間 Web アンケート」にご協力をお願いします！

https://www.rofuku.net/research_competition2020/

中央労福協

検索

連載 59

二〇二〇年九月

「なんでも相談ダイヤル」を設置した山田精吾 ～組織化をめぐる四人の連合事務局長の足跡①～

一九八九年十一月、「二〇〇万連合」をめざした連合（日本労働組合総連合会）は、七八の産業別労働組合、八〇〇万人の組合員で発足する。その前半の一五年は四人の事務局長が担った。山田精吾、鷺尾悦也、笹森清、草野忠義の各氏である。いずれも故人となられた。

初代の山田事務局長の口癖は「顔合わせ、心合わせ、力合わせ」だった。統一したとはいえ、それまでの総評、同盟、中立労連、新産別の組織間競争と対立は現場段階では根強く残っており、まずはリーダーたちが顔を合わせて、信頼関係を積み重ねない限り、本当の力を発揮できないという思いからだった。

それは、組織化・組織拡大に関する方針にも表れている。一九九二年十一月の第十回中央委員会で確認された具体的な組織方針は、「組織化は運動の『力』の強化であり、雇用労働者及び広く勤労国民の基本的条件」であるとしながらも、その「積極的主体は産業別組織」であり、連合は「組織化・組織拡大の環境づくりを進め……支援する」というものだった。組織化をめぐる競争や再編は、当時なお激しく続いていたため、組織化に関しては産業別組織に委ねる形で方針を整理せ

ざるを得なかったのである。

そもそも、ナショナルセンター連合は、「産業別全国組織によって構成する」という組織原則で発足している。連合加盟組合が「構成組織」と呼ばれる所以である。そのため、企業別組合はいずれかの産業別労働組合に所属しなければ連合に加盟出来ないのが原則だ。

けれども、労働組合主義者である山田は、その一方で連合本部に「なんでも労働相談ダイヤル」の設置を決定する。すると、ひっきりなしに未組織労働者からの相談電話がかかってくる。労働相談をきつかに組合結成に結びつけることがあっても、個人や小規模の労働組合を引き受けてくれる産別は多くはなかった。その結果、行き場のない労働者や中小規模の単組が続出したのである。山田が想定していたであろうとはいえ、相談ダイヤルの設置は、組織方針と現実の間の矛盾を顕在化させることになったのだ。

そのため、九三年の連合第三回大会で二代目の事務局長に就いた鷺尾悦也の時期から、一人でも入れる「地域ユニオン」の検討など、連合自身が主体となって積極的に組織拡大に取り組む方針を固めるようになる。以下次号。（高橋均）